

協議内容 まとめ

令和6年度 第三回種子島地区自立支援協議会（3/18 火曜日）中種子町公民館大ホール 10時~12時

（議長：自立支援協議会会長 橋口勝）

各部会より

● はたらく部会（あかつき；原崎）

① 運転免許「わかばプラン」寄付チラシ確認について

障害のある方の入校前の「わかばプラン」の表記に変更する。

今年度は1口5千円で開始し、金額変更については来年度以降検討する。

② 就労選択支援について

就労選択支援事業所が存在しない場合方向性について共有する。

就労選択支援員の要件、方向性について共有する。

島内で就労選択支援事業所の開設に向けて協議を継続していく。

● 暮らし部会（こすも；高木）

① 生活介護支援者のスキルアップ『強度行動障害』の研修の要望について

（開催時期）10月~12月

（講師）田邊先生を予定している

⇒『強度行動障害』の基本的な研修や問題解決の相談窓口は、島内の人材を活用し対応していく

⇒11月11~13日、土屋先生の研修とかぶらないように日程調整する

⇒県の強度行動障害の研修の種子島での開催をお願いしたい

② 医療的ケアが必要な男児が卒業後、障害者のサービスを利用。今後は、暮らし部会で取り扱う。看護師のWワークでの看護師確保の件は、医療的ケア児のワーキンググループで引き続き進めていく

⇒来年度の受け入れ体制作りでは、あかつき園の方で2月に特別実習で10日間の利用があった。訪問看護のがじゅまるに入浴指導を依頼（5日間）。午前中入浴と医療的ケア／午後集団レクに参加。看護師と1対1の対応。公立種子島病院からの看護師の派遣ができるように進めている。

⇒お互いに協力し合って地域で解決していけるように関係を作っていきたい。看護師の人材育成も人材確保も『課題解決は地元で!』

③ 自宅での入浴の困難事例がある。特殊浴槽での入浴の検討をしているが、支援者不足で希望に応じられない事がある。地域で支える視点を持ち、何かできる事を考えたい

⇒種子島の人材不足の課題は、お互いに地域で協力して体制を作っていかななくてはならない

④ 人材確保のために、介護職員初任者研修の開催や助成は各市町で行われている。介護福祉士実務者研修開催も高齢者の事業所で開催されているので、高齢者の分野との情報共有が必要

協議内容 まとめ

令和6年度 第三回種子島地区自立支援協議会（3/18 火曜日）中種子町公民館大ホール 10時~12時

- ⇒1市2町は介護の方で研修の助成を行っていて障害の方では把握していない
- ⇒南種子町は毎年介護職員初任者研修をしている。13名位の受講があるが、皆さん合格はされるが仕事に繋がらない

⑤ 特別支援学校より、今後の卒業生の生活の場（具体的には女性のグループホームをこの先4年間1名ずつ）が必要

- ⇒グループホームは女性の空きが少ない
- ⇒鹿児島からの卒業生もいるので帰島の可能性もある

● こども部会（たちばな;日笠山）

第3回こども部会報告 令和7年2月18日(火)10:00~11:20 於 西之表市民会館301会議室

【協議の内容】

- (1) 障害歯科について
歯科医師会に情報提供済み。昨年より県による医療通院助成は行われており、利用された保護者からの感想あり。
- (2) よろ〜てファイルについて
特別支援学校での取り組みの報告→支援学級への広がりが望まれる。
- (3) すまいるキッズ親の会からの要望書について
5つの要望について関係機関より回答。
- (4) 児童発達支援等の子供に関する事業所の課題について
課題;利用日数の調整、若手の人材育成など。
医療センターのリハビリ室の受け入れもひっ迫。
- (5) 看護師のダブルワークについて
医ケア児のケースで実践できつつあるとの紹介。

● 相談支援部会（ねいろ 24;木下）

医療的ケア等ガイドライン作成について・・錦江町への視察の提案（運営会議で予算は承認されていることの報告）

● 権利擁護部会（基幹 荒木）

- * 令和6年度から市町広報紙に連載している『自立支援協議会だより』に関して、来年度は運営委員だけでなく、島内（外）の適任者の方にも執筆を依頼していく。

協議内容 まとめ

令和6年度 第三回種子島地区自立支援協議会（3/18 火曜日）中種子町公民館大ホール 10時~12時

- * ① こんな話を聞いてみたいといったテーマ ② この人の話を聞いてみたいと思う人
上記①②に係るアンケートへの協力を依頼した。アンケート結果は下記のとおり。

| ① きいてみたい話のテーマ | ② 話をきいてみたい人 |
|---|---|
| マンション型のグループホーム事業形態や人員配置など運営に関して。 障害者雇用について事業者サイドからの話や助成金について。 精神疾患を抱えている方に対する基本的な対応について具体的に。 他職種間の連携に関して（横の繋がり、「オール種子島」という意識）。 虐待事例に関して、虐待に至った理由や原因その内容など。 特別支援学校で行う自立支援活動のあり方。 各施設での就労移行に向けた取り組み内容。 性の話、人権、包括的性教育、重度の方の性。 | 古田校区区長、窪田良二氏 特別支援学校の先生方 各事業所首長（本音を聞きたい） ベテルの家、向谷地生良氏 門下祐子氏（性の話） |

- * 一月に開催した『フジヤマコットントン』上映会の詳細について。
→ 来年度第一回の協議会でお伝えする。

- * 虐待に関して各事業所の状況を参加者で共有。
マンパワーの関係から身体拘束を余儀なくされる時がある。

【 その他 】

- 熊毛支庁保健福祉環境部 地域保健福祉課 課長 宮里氏

- * 令和6年度人材確保の取り組み、熊毛地域医療・福祉人材確保キャラバン事業の紹介

URL : https://www.pref.kagoshima.jp/ap03/iryuu_fukushijinzei/index.html

- * 来年度は実際に来島してもらい、肌で島の魅力を感じてもらえるよう、学生の夏休み期間にキャンプ事業を予定している。島内各事業所のご協力をよろしくお願いします。

- 自立支援協議会会長 橋口氏

- * 第2回種子島スポーツクラブ主催 ボッチャ大会の紹介

期日:4月27日(日) 会場:西之表市民体育館 | チーム選手:3~6人

参加申し込み:種子島スポーツクラブ事務局 電話(0997-23-2206)

[メールアドレス miyuki@po5synapse.ne.jp](mailto:miyuki@po5synapse.ne.jp)

協議内容 まとめ

令和6年度 第三回種子島地区自立支援協議会（3/18 火曜日）中種子町公民館大ホール 10時~12時

- * 地域住民に障害者理解を啓発していくためにも12月3日~9日の障害者週間に合わせて福祉フェスタ(仮称)を開催することを考えている。
- * 自立支援協議会と別組織で実行委員会を立ち上げ、地域住民の方が子どもから大人まで楽しめるようなフェスタを企画していきたい。

● 中種子特別支援学校校長 宮脇氏

- * 就学に至る手続きがなかなか周知できていないのを感じている。
- * 島外の特別支援学校高等部に進学する児もいるが、三年後にその子が帰島する可能性を考えた時、その時の情報共有が非常に難しいことが予想される。
- * こういったケースを考えた時、よろーてファイルはとても有力なツールになり得るためより積極的に活用していく必要があり、またそのように活用できるものにしていく必要がある。

● はたらく部会 相談支援専門員 原崎氏

市町広報紙3月号 はたらく部会の記事を見た保護者の方から「引き籠っていた子が仕事に就くことができた。終業時に『今日も〇〇さんがいたから仕事ははかどったよ』とスタッフから言葉を掛けてもらえることが「明日もまた仕事に行こう」という本人の意欲に繋がっており、大変ありがたく思っている」といったお話をうかがった。私たち福祉に携わる支援者にとって、とてもありがたい大切なお話と感じたのでここに共有させていただく。

令和7年3月31日 事務局まとめ